

社会科 小学校 5年

単元名 「工業生産と貿易」

本時の流れ

【本時の目標】

○日本の輸出品の変化を調べ、その特色をつかむとともに、日本の工業製品や工業技術が外国で役立っていることを資料から読み取る。（観察・資料活用 of 技能・表現）

【復習】

前時の復習をする。

【復習プリントの活用】

前時に書いた学習のまとめや写真等を活用して、児童の言葉で振り返りをさせる。

【めあての把握】

本時のめあてを知る。

【めあて】

日本の輸出品の変化を調べ、その特ちょうを考えよう。

【自力での解決】

資料を読み取る。

【グループでの学習】

自分で考えたことを友だちと交流する。

【発問】

- ①日本の輸出品と輸出相手国のグラフから気付くことは何ですか。
- ②写真（外国にある日本企業の工場、外国で使用されている日本の工業製品）から気付くことは何ですか。

【集団でのまとめ】

グループでまとめたことを全体の場で交流し、さらに思考を深める。

【自力での解決】

繊維品が減り、機械類や自動車が増えたことなど、見て分かる事実だけでなく、海外とのつながりなど既習内容を思い出し、変化の背景にあるものを考えさせる。

自分の考えを友だちに説明できるようにワークシートにまとめて文章化させる。

【グループでの学習】

グループ長を中心に、互いの考えを聞き、アドバイスし合ったり、自力解決できなかった児童にヒントを与えたりする場面にする。

【学習の整理】

他国の工業の発展に、日本の技術や輸出品が役立っていることに気付く。

【話し合い】（言語活動の重視）

- 既習事項や地図帳などを利用して自分たちの考えを説明させる。
- 友だちの考えを聞いて、自分の考えと比べさせる。

【学びの振り返り】

本時の学習で分かったことやこれからの学習で調べたいことなどをノートに書き、発表する。

【振り返り】

自分の言葉で、本時で大切だと思ったこと、分からなかったことなどをまとめさせる。学習のまとめでは、「書く」作業を通して授業での新たな気付きや学びを整理する活動（自己評価）を取り入れ、「活用」の力を育てる。

HOME

単元の流れへ

授業展開例へ

CLICK

学習指導案はこちら

CLICK

板書例はこちら

